

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 28 号

第 28 週 (7月6日 ~ 7月12日)

発行年月日:平成21年(2009年) 7月16日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

#### 滋賀県内の新型インフルエンザ確定患者の発生は40例

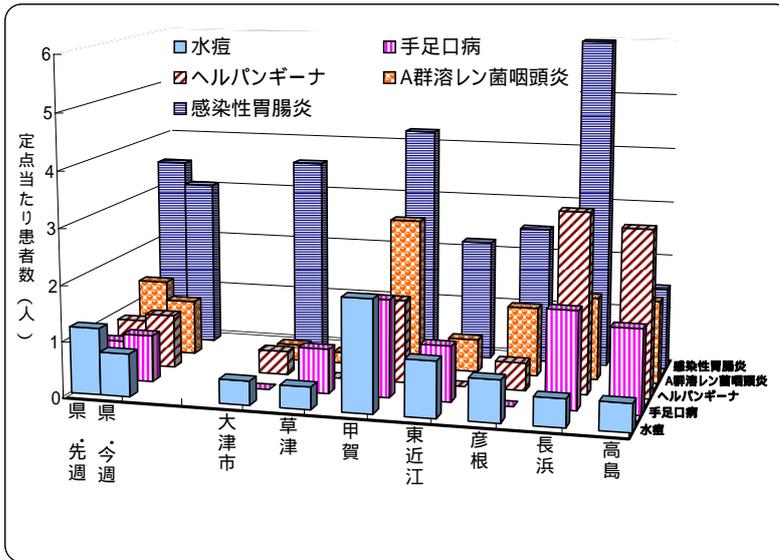
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりやや少なくなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病、ヘルパンギーナおよび流行性角結膜炎です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

**新型インフルエンザについては、高校における集団感染の発生により届出患者数が急増しています。**(発生状況については下記グラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、ヘルパンギーナでは高島で警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えています。

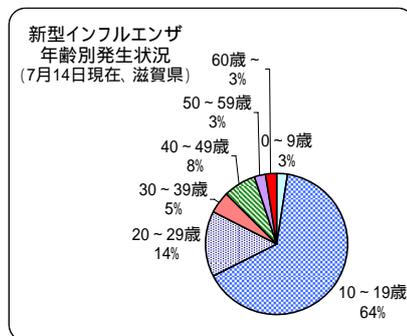
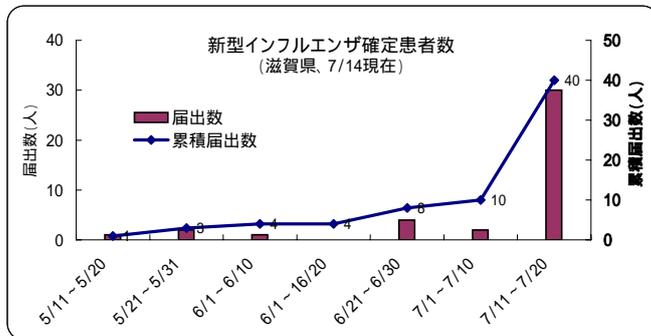
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で 9名、五類感染症の急性脳炎で 1名の届出がありました。

#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第 28 週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、手足口病、水痘の順に多くなっています。ヘルパンギーナは長浜および高島で多くなっています。手足口病は甲賀、長浜および高島で多くなり、特に長浜で先週よりかなり増加しています。

#### 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況



7月15日 6時現在における日本国内の新型インフルエンザの届出数は、47都道府県から3,122名となっています。また、性別では男性 1,780名、女性 1,342名となっています(厚生労働省提供資料より)。

滋賀県における年齢別発生割合は10~19歳で64%を占め、患者数は26名と最も多くなっています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (28週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (28週)	全国 (28週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	9	144	13,825	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	90	<sup>(*)</sup> 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	1,063	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	26	0	43
	A型肝炎	0	0	72	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	35	2	104
	マラリア	0	0	27	1	56
	レジオネラ症	0	3	330	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	431	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	112	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	66	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	71	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	4	781	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	42	1	76
	梅毒	0	0	394	5	839
	破傷風	0	2	56	5	123
	急性脳炎	1	1	113	1	190
	風しん	0	2	103	2	309
	麻疹	0	1	473	39	11,015

\* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

\* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第28週(7/6～7/12) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 308例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 97例	細菌性赤痢 1例	腸チフス 1例	パラチフス 1例	四類感染症: A型肝炎 2例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	梅毒 5例	破傷風 1例	六類感染症: デング熱 3例	マラリア 1例	つつが虫病 3例	日本紅斑熱 3例	レジオネラ症 14例	七類感染症: 後天性免疫不全症候群 13例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	パンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例	ウイルス性肝炎 3例	急性脳炎 1例	麻疹 12例
-------------	----------------	------------------------	----------	---------	----------	----------------	------------------	-------	--------	----------------	---------	----------	----------	------------	-----------------------	-------------------	--------------------	------------	---------	--------

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第23～28週, 6/1～7/12)

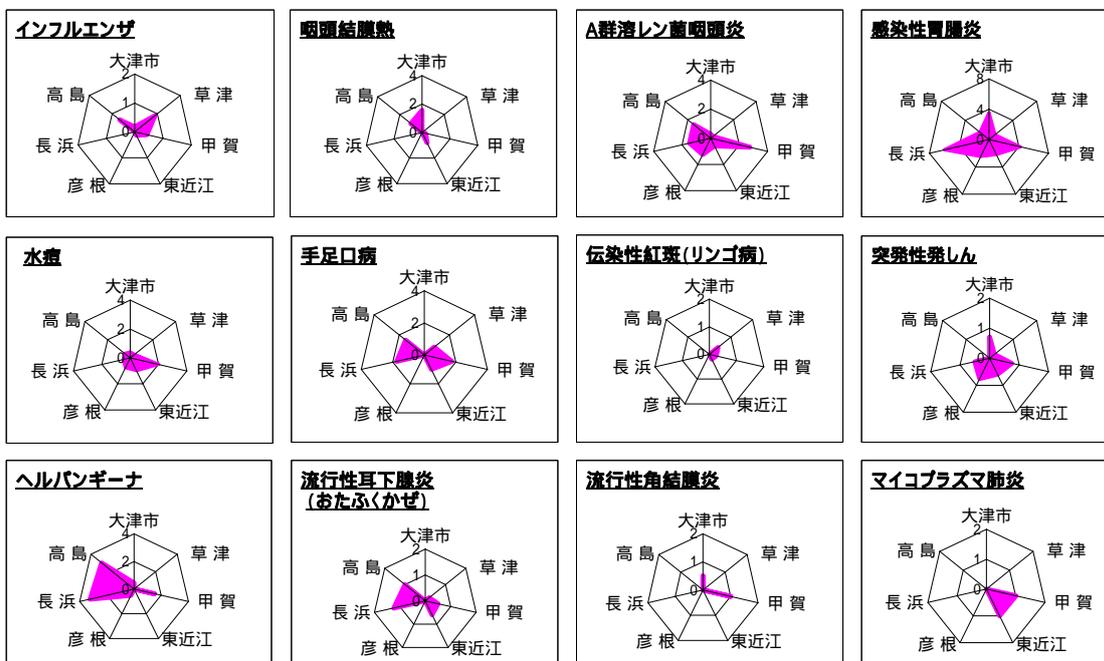
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	23週		24週		25週		26週		27週		28週	
	(6/1～)	(6/8～)	(6/15～)	(6/22～)	(6/29～)	(7/6～)	24	25	26	27	28	
インフルエンザ	0.58	0.27	0.15	0.08	0.08	0.31						
RSウイルス感染症	0	0.03	0.03	0	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.45	0.26	0.35	0.32	0.42	0.58						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.32	2.06	1.58	2.03	1.35	1.00						
感染性胃腸炎	4.55	4.94	4.71	3.94	3.48	3.06						
水痘	1.10	0.87	1.35	0.71	1.19	0.77						
手足口病	0.45	0.35	0.61	0.39	0.71	0.84						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.19	0.13	0.10	0.16	0.13						
突発性風しん	0.55	0.32	0.48	0.35	0.58	0.55						
百日咳	0.03	0.06	0.03	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.35	0.32	0.32	0.71	0.84	0.97						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.58	0.52	0.55	0.55	0.45	0.42						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.38	0.25	0.13	0	0.13	0.25						
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.14	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.43	0.29	0.14	0.29	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第28週、7/6～7/12)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.31	0.18	0.89	0.43	0.13	0	0	0.67	■
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.58	1.57	0	0.25	0.80	0	0	1.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	0.20	2.75	0.60	1.25	1.50	1.50	■
感染性胃腸炎	3.06	3.57	1.00	4.25	2.20	2.50	6.00	1.50	■
水痘	0.77	0.43	0.40	2.00	1.00	0.75	0.50	0.50	■
手足口病	0.84	0	0.80	1.75	1.00	0	1.75	1.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0	0.40	0.25	0.20	0	0	0	■
突発性発しん	0.55	0.71	0.20	0.75	0.60	0.75	0.50	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.97	0.43	0	1.50	0	0.50	3.25	3.00	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.42	0	0.20	0.50	0.60	0	1.25	1.00	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	1.00	0	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6  
 定点当たり患者数(人)

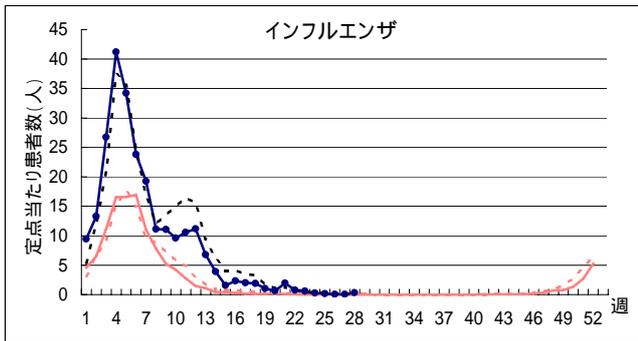
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



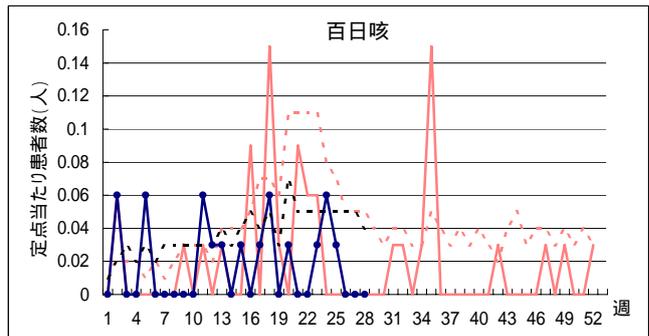
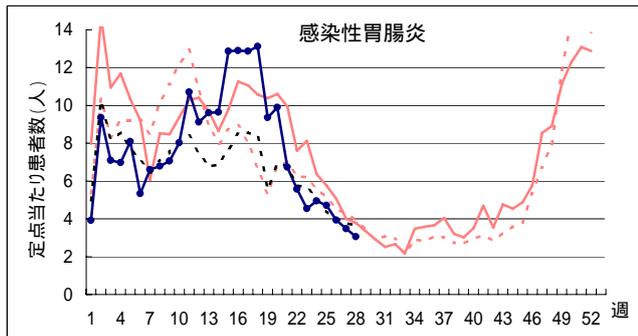
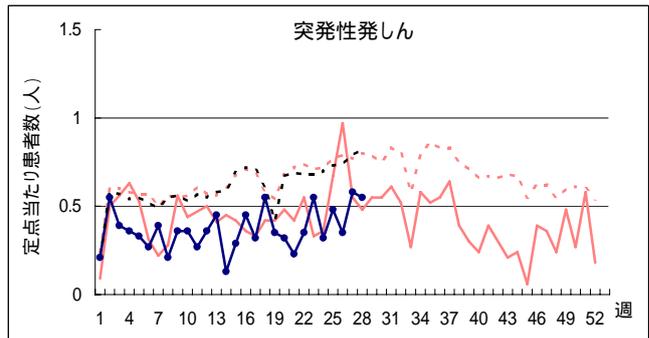
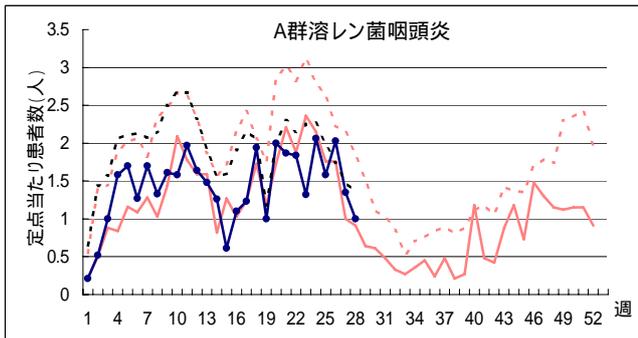
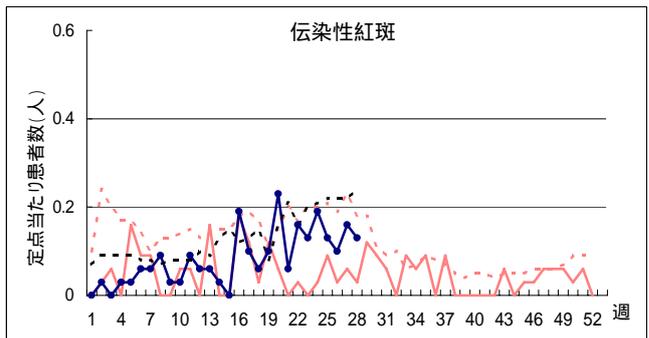
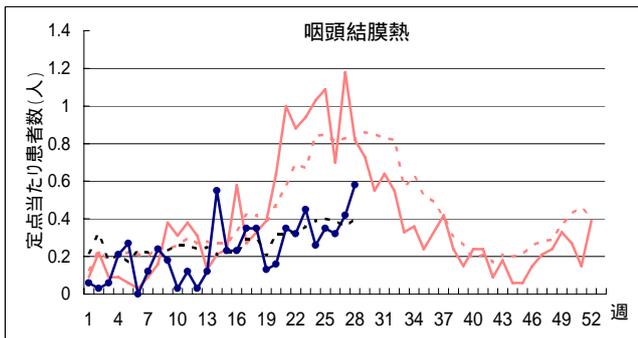
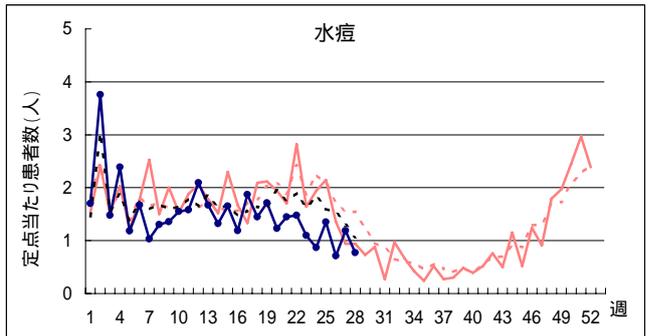
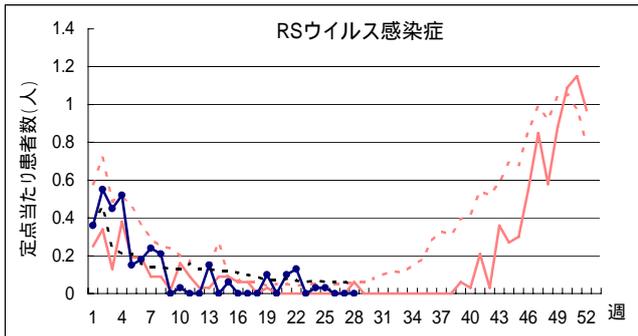
(3)今週の発生状況

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は先週の0.08よりかなり増加し、0.31となっています。特に草津でやや多くなっています。また、全国においても先週より増加しています。
- 咽頭結膜熱-----大津市では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数は1.57となっています。年齢別では1～3歳でやや多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----甲賀および東近江では先週よりかなり減少していますが、甲賀ではやや多い状態となっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体としては先週に引き続き減少していますが、大津では先週よりかなり多くなっています。
- 水痘-----大津市では先週よりかなり減少しています。
- ヘルパンギーナ-----甲賀および長浜では先週よりかなり増加しています。また、大津市および高島では先週より減少していますが、高島の定点当たり患者数は3.00で警報終息基準値(2.00)を超えています。

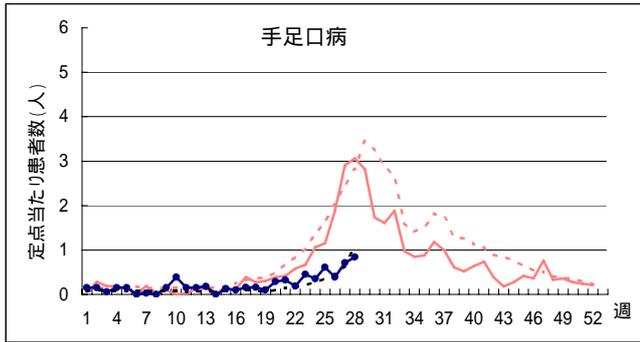
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第28週、H19.12.29~H21.7.12)



H20 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第28週、H19.12.29～H21.7.12)



H20  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -  
 H21  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

